

令和5年度 多治見市民病院指定管理者評価委員会議事録

- 【日時】** 令和5年7月19日(水) 10:00～11:30
- 【場所】** 多治見市役所 駅北庁舎 4階第3会議室
- 【出席者】** 中村 俊之 委員長(東濃保健所長)
尾関 恵一 委員(多治見市監査委員)
原 輝道 委員(多治見市25区区長)
鈴木 亜紀子 委員(市民代表)
- (市民病院)
院長 今井裕一、参与 古川雅典、事務長 池田達也
(事務局)
市民健康部長 伊藤香代、保健センター所長 谷口知子(進行)、
保健センター(大畑幸二、柴田恭兵)

【次第】

- 委員紹介、事務局紹介
- 市民健康部長あいさつ
- 委員長により開会
- 傍聴人有無の確認
傍聴人無し
- 会議の成立確認
全員出席により成立
- 事務局から評価シートの見方、評価の定義等の説明
- 指定管理者、指定期間、業務の範囲の説明

【議事概要】

(事務局)

～資料1について説明～

1 診療について

(委員) 研修医が増えているのは良いことだと思う。

(市民病院)

基幹型臨床研修病院になってから積極的に受け入れを行っている。来年度も募集枠4名のところに10名を超える人数の応募がある。

(委員)

看護師を確保するためにはどんなことが必要だと思うか。

(市民病院)

この地域だけでなく、名古屋の学校にも看護師のリクルートに行っている。また、最近では看護大学を出て看護師になる方が多いため、そうした方が何を希望しているのかニーズを読むことも必要かと考えている。

(委員)

全国的に医師や看護師の確保が困難と言われている中、前年度から大きな減少なく確保されているため、職員配置に関する評価は○とする。

(委員) 小児科の患者数が減少している理由はどのようなか。

(市民病院)

インフルエンザ等の感染症の患者が減少しているのが理由のひとつと考えている。

(委員) 産科は開設できないのか。

(市民病院)

産科を開設する場合、365日24時間対応できる体制を整備しなければならず、そのためには最低3名の医師を確保する必要がある。全国的にも産婦人科医が少ない中、それだけの医師を確保するのは非常に困難な状況にある。

(委員)

外来診療については、事務局案通り、評価は△で良いかと思う。特に小児科の減少は大きく、市民病院小児科への市民の期待は大きいと思われるため、頑張っていたきたい。

(委員)

コロナの状況もあり、入院患者への面会制限を行っているが、市民からは入院している家族への面会を望む声は多い。コロナの状況も考慮しつつ、面会制限の緩和について今後検討していただけると良いと思う。

(委員長)

診療についての各項目の評価について、外来診療のみ△とする。

(事務局)

【評価の確認】職員配置○、外来診療△、入院診療○、安全管理・医療倫理○

2 政策的医療について

(委員)

救急医療については、コロナの状況下にあっても体制を維持し、前年度を上回る患者数となった。評価は○で良いと思う。

(委員)

小児科患者が減少しているのは、市民病院だけの問題なのか。

(市民病院)

市民病院だけでなく、地域の医療機関等でも、小児科の患者が減少していると聞いている。感染症の減少が大きな要因であると考えている。

(委員)

小児科の常勤医師が1名となっており、体制的にも厳しい状況にある。是非医師の確保に向けて頑張っていたきたい。

(委員長)

小児科の患者数減少が大きいため、事務局案通り評価は△とする。

(委員)

政策的医療は、通常不採算部門となる分野を実施するため市が負担金を出

しているものである。それを踏まえた上で適切な診療の提供に向けて取り組んでいただきたい。

(委員)

保険衛生事業について、協会健保の件数が減少し、市職の件数が増加した理由について教えてもらいたい。

(事務局)

市の会計年度職員について、前年度までは協会健保として区分されていたが、令和4年度からは市職としての区分に変更されたことによるものである。

(委員長)

各項目の評価について、救急医療は○とする。小児医療については△とする。リハビリテーション医療については、コロナ前の実施件数を上回っており、○とする。保健衛生事業についても、前年並みの件数を確保し市民の健康維持への貢献をしており、○とする。災害時医療については、平常時から災害に備えた体制整備をしており、○とする。

(事務局)

【評価の確認】救急医療○、小児医療△、リハビリテーション医療○、保健衛生事業○、災害時医療○

3 地域医療連携等について

(委員)

指定管理が始まった頃は、開業医からの紹介はそれほどなかったのではないかと思います。それを思うと、近年30%以上の紹介率を確保しているのはよく頑張っていると思う。

(委員長)

紹介率は診療科によっても違いがあると思う。診療科別の紹介率も確認してみると良いと思う。

30%以上の紹介率を確保し頑張っていたらいいもの、目標値には達していないため、応援の意を込めて事務局案通り評価は△とする。

(委員)

広報について、毎月掲載されている医師のコラムは大変参考になっている。今後も続けていただきたい。

(市民病院)

コロナ禍において公開セミナーなどは開催できなかったが、今後少しずつ再開していければと考えている。

(委員長)

各項目の評価について、地域医療機関の連携等は△、それ以外の項目については○とする。

(事務局)

【評価の確認】地域医療機関との連携等△、市民参加の促進○、市の施策協力○、介護保険事業等高齢福祉の協力○

4 施設維持管理、その他について

(委員長)

施設の維持管理については適切に実施されており、評価は○とする。

(事務局)

【評価の確認】施設等の維持管理○

(委員)

市民病院の決算では、コロナに係る国等からの補助金を除いても黒字額を計上している。公立病院で黒字を計上するというのは難しいことだと思うが、引き続き頑張って運営していただきたい。

(委員長)

そのほかに質問・意見はないか。

(委員)

特になし

(委員長)

これをもって閉会とする。(11:30 終了)